

感染症情報

6月26日～7月2日(第26週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★		
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★		
⑥	溶連菌感染症	★★★★	→	流行中です
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★		
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★	→	
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★		
⑪	手足口病	★★		
⑫	ヘルパンギーナ	★★★★	↑	流行中です
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★★	↑	
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★★★★	↑	発熱や発疹を伴います
⑯	RSウイルス感染症	★★★★★	→	流行中です
⑰	インフルエンザ	★★	→	まだみられます
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★	↑	やや増加傾向です
⑲	その他のかぜ症候群	★★		

「RSウイルス感染症」「溶連菌感染症」が流行中です。「溶連菌感染症」は真夏には減少しますがもう少しばらばらが多いと思われます。「RSウイルス感染症」は従来は秋先から増えるのですが2年前からは春先から増加する傾向があり、今後も流行が続く可能性があります。

夏かぜの1種である「ヘルパンギーナ」が6月中旬から流行中です。毎年流行する「手足口病」やその他の「夏かぜ症候群」は過去3年と同様に増加傾向がみられません。

インフルエンザA型はかなり少なくなりましたが、もう少しばらばらは注意が必要です。

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)オミクロン株」は最近少しづつ増加傾向です。第9波の到来が予想されます。2類から5類への変更となりましたが引き続きWithコロナの対応をしていきましょう。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある